

参加費
無料



理工系チャレンジ講座

バスボムを作ろう！

日時 令和6年10月26日(土)

午前10～12時

場所 菊沢コミュニティセンター

対象 小学校5年生～中学2年生の
女子20名とその保護者

※子どもだけの参加も可とします。保護者参加の場合は一緒に女子トークにご参加ください。

講座の内容

その1 実験 「バスボム作り」 ※子どものみ

その2 女子トーク 「消えていく仕事と残る仕事」

講師 帝京大学工学部バイオサイエンス学科



准教授
平澤 孝枝先生




准教授
高山 優子先生



理工系チャレンジ講座って？
女子小中学生が理工系分野に関心を持ち、将来の進路選択の可能性を広げることを応援するための講座です。

お申込み・お問い合わせ
鹿沼市 市民部 人権・男女共同参画課
TEL 0289-63-8352
E-MAIL jinken@city.kanuma.lg.jp

お申込みはこちらから 
※定員超過の場合は抽選となり、抽選結果は
10月18日までにメールでご連絡します。



◆◆◆ 女子の理工系分野への進路選択について ◆◆◆

1 日本は女性の理工系人材が少ない (OECD加盟国の平均の半分)

「男子は理系、女子は文系」という無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)が強い。

女子は幼少期から理工系に触れる機会が少ない。

理工系に女性が少なく、ロールモデルが少ない。



平澤准教授によると…

今後はAIなどの発展によって職業構造が変化し、気象や消費者の動向を予測するツールを扱える理工系人材が必要になるだろうと言われています。

しかし、日本では女性の就業比率が著しく低いのが現状です。また、理工系分野の発展のためには、多様な視点や発想を取り入れていく必要があり、女性の進出が期待されています。

そのためには、女子児童や女子生徒の理系進路の選択が重要になっており、教育や進路選択に大きな影響力を持つ保護者の理解(意識改革)も重要です。

2 こんなデータがあります!

理工系女性は、理工系以外の女性に比べて

製造業や医療、福祉分野に多く従事しており、大学等での専攻に関係性のある業務に従事している。

正規で雇用されている割合が高く、給与水準も高い傾向にある。

転職回数が少なく、転職理由として年収や待遇、業務内容に不満があったと回答する割合が低い傾向にある。

産前・産後休業もしくは育児休業を取得した割合が高い。

令和5年文部科学省の「女性理工系進学者等をめぐる状況調査結果(概要)より

3 先輩たちの声を聞こう!



栃木県の「ウーマンナビ」サイトに

「先輩達に聞く 理工系女子のススメ」の動画が掲載されています。栃木県内に立地する企業や大学に勤務している先輩から理工系のお仕事のやりがいや魅力、理工系分野に進もうと思ったきっかけなど進路選択のヒントになるようなお話が聞けますよ。



女子だから理工系は難しいという 思い込みを捨てて 幅広い分野で活躍しよう!